

「PFOS 等の濃度低減のための対策技術集」の公表について

環境省は、PFOS 等の濃度低減のための対策技術の知見の充実を目的に実証事業を実施し、2026年6月5日に、実証結果を「PFOS 等の濃度低減のための対策技術集」として、公表しました。

【技術集について】

・実証事業の概要

対策技術の有効性や経済性等の観点から、実証対象技術の選定や評価が行われ、土壌・水（最終処分場の放流水や浸透水）を対象に、合計9件の技術について実証が行われました。

・技術集の構成

1. 本技術集について
2. 土壌の濃度低減のための対策技術（土壌浄化等）
3. 水の濃度低減のための対策技術（超音波等）
4. 参考資料

・活用に当たっての留意点

同じ技術であっても、異なる条件等では異なる結果が得られる可能性があることから、技術を導入する際は、条件に適した技術を十分に検討する必要がありますとされています。

技術集の詳細は、下記 URL からご確認いただけます。
<https://www.env.go.jp/content/000404224.pdf>

当社では PFAS の分析に実績と豊富な経験があります。詳しくは、当社 PFAS 分析担当者（フリーダイヤル 0120-01-2590）までお気軽にお問い合わせください。

資料 [2026年6月5日付 環境省報道発表資料](#)

下記の記事をご希望の方は編集室までご連絡下さい。

[1. 災害時における石綿飛散防止に係る取扱いマニュアルの](#)

[改訂](#)

[2. POPRC22 の暫定議題について](#)

PCB 特措法に基づく PCB 廃棄物の保管等の届出の全国集計結果について

環境省はポリ塩化ビフェニル（以下、PCB という）廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法（PCB 廃棄物特別措置法）に基づき PCB 廃棄物を保管する事業者から都道府県等に対して届出された、2025年3月31日現在の PCB 廃棄物の保管等の状況について取りまとめました。

1. 集計の範囲

都道府県等において PCB 廃棄物を保管する事業者から届出のあった PCB 廃棄物の種類毎の保管量及び PCB 使用製品の種類毎の使用量を集計したものを環境省において集計し、以下のとおり分類しました。

- ①変圧器（トランス）②コンデンサー（3kg 以上）③コンデンサー（3kg 未満）④柱上変圧器（柱上トランス）⑤安定器⑥PCB を含む油⑦感圧複写紙⑧ウエス⑨OF ケーブル⑩汚泥⑪塗膜⑫その他の機器⑬その他

2. 2025年3月31日現在の PCB 廃棄物の保管等集計結果

詳細は環境省報道発表資料をご参照ください。

当社では PCB の分析に実績と豊富な経験があります。詳しくは、当社 PCB 分析担当者（フリーダイヤル 0120-01-2590）までお気軽にお問い合わせください。

資料 [2026年5月29日付 環境省報道発表資料](#)

[3. 低濃度 PCB 廃棄物の無害化処理の認定申請について](#)

[（ゼロ・ジャパン株式会社）](#)

[4. リスクアセスメント対象物における濃度基準値の追加改正案](#)

< 夏季休業について >

誠に勝手ながら、当社では下記のとおり夏季休業させていただきます。何かとご迷惑をおかけすることとは存じますが、ご了承いただきたくお願い申し上げます。

夏季休業日 8月14日（金）



消毒副生成物の検査の期間です！

特定建築物に該当する建物は、定期で水質検査が義務付けられています。中でも消毒副生成物の12項目は、水質検査の実施時期が決められており、6月～9月の間に実施する必要があります。詳しくは下記 URL からご覧いただけます。特定建築物における水質検査：<http://www.knights.jp/knightsreport/reports/KR08005.pdf>

お問い合わせはこちら



[過去の記事はこちら](#)

[お問い合わせはこちら](#)